

大阪北部地震

八幡でも大きな被害

安心して暮らせる
防災・まちづくりを

被災者への支援、公共施設・住宅などの耐震化促進を



美桜府営住宅では壁面に大きなひびが入り、避難所で過ごす日が続きました。



史跡・松花堂の書院ではかもしが落下。茶室、庭園なども被害を受けました。

6月18日、高槻市など大阪北部を震源とする地震で、八幡市も震度5強を記録しました。6月議会の会期中だったため、一般質問のための本会議などの日程を変更して、対応しました。

八幡市の被害は京都府下で最大となり、住宅などの罹災証明は1900軒に上っています。

府営住宅、社会福祉施設、民家での屋根瓦や壁の被害があいつぎました。復旧へ動き出したものの工事を引き受ける事業者が不足し、改修作業がはかどりません。

緊急に支援策とりまとめ

八幡市は、被災者に対する支援制度を整備しました。

適用条件がきびしい

見舞金、支援金制度、住宅の簡易耐震改修工事などについて、適用条件を緩和し、一部損壊などでも対応できるように改善しました。被災された市民への生活支援は、税や上下水道料金、国民健康保険、介護保険、障害福祉サービスなどの負担軽減を準備しまし

◇八幡市の被災状況（7月17日現在）

罹災証明書 1900軒
半壊：5軒、一部損壊：1658軒
ブルーシート 1831枚配布

た。一方、適用条件が厳しく、運用の改善が必要です。

八幡小、有都小 体育館が使用中止

日本共産党八幡市議団と森下よしみ府会議員は7月6日、地震により体育館が被災した八幡小、有都小、などを調査しました。

八幡小と有都小の体育館は、柱と屋根部分を結合する箇所、それぞれ8カ所のコンクリートが落下し、現在も使用できない状態です。今後、補強方法を検討しますが、夏休みなどの期間中に整備する方向です。学校は災害時の避難場所でもあり、耐震性の点検が求められます。



八幡小体育館の柱と屋根



有都小体育館の柱と屋根

課題は山積 防災計画の検証 くらしの支援策を

災害救助法

大阪・高槻や枚方は適用されるのに なぜ八幡は適用されない？

災害の時、都道府県は被災地を災害救助法の適用地域に指定し、避難所運営や生活必需品提供などの費用を、国と県が負担します。

今回の地震で、大阪府は震度6弱～5弱を含む13市町を指定しましたが、京都府は指定なし。

住宅の復旧支援、生活支援策などを受ける場合、災害救助法の適用地

域の方がより手厚くなります。同じ災害で被災しているのに、災害救助法の適用で差が出てしまいます。

災害直後、八幡市や京都府の対応がどうだったのかを検証する必要があります。また都道府県単位で指定するので、広域災害によって都道府県の差が出るなどの問題があり、改善が急がれます。

こんにちは 日本共産党です

<八幡市議会報告ニュース> 2018年夏号

日本共産党八幡市議会議員団 075(983)2005 (FAXも)
議員団ホームページ 「日本共産党八幡市議団」で検索を
メールアドレス jcp-ywta@am.wakwak.com

力あわせてがんばります

山本 邦夫市議 982-8844
巖 博市議 982-9663
亀田 優子市議 982-1277
中村 正公市議 983-8312

市民の願い実現に全力 日本共産党

値上げ・負担増繰り返すな

八幡市は、4年後の市庁舎建て替えを理由に財政を見直し、暮らしを直撃する内容を打ち出しました。

4月からの水道料金値上げで、市民負担は1億3500万円も増えます。

国民健康保険と下水道事業への市の独自負担、繰入金金を3億円減らします。子どもの医療費無料化などにたいし、国が「診察が増える」と難くせをつけ、国の補助を減額しています。これらを穴埋めせず、市民負担で乗り切ろうとしています。

高校卒業まで医療費無料に

日本共産党は6月議会で、高校卒業まで医療費を無料化するよう要求しました。京都府知事が、京都市と歩調を合わせて医療費助成を拡充する動きを見せているため、これによる財源を活用すれば実現できます。市は「府の検討状況や他市の動向を注視して判断していく」と回答しました。

矛盾だらけの子育て支援策

市の就学前施設再編計画で、①第2、第4幼稚園の統合、②みやこ保育園の廃止、有都子ども園への統合、③みその保育園と八幡幼稚園を統合する――案を示していることに対し、日本共産党は、保護者に知らせず、財源、具体計画も示さないやり方を批判。市に見直しを求めました。

学童の過密化解消めどせ

美濃山小学校内の学童保育では、定員100人にたいし、利用児童数は162人となり、超過密状態です。日本共産党はトイレの整備、体調が悪い時の休養スペースの確保などを要求しました。

これにたいし市は、「過密化の対策は必要」「真剣に取り組む」と答弁しました。



市役所の
平和の折り鶴コーナー

国連で核兵器禁止条約が採択された（昨年）のに続き、初めての米朝首脳会談で朝鮮半島の非核化を合意するなど、「核兵器をなくそう」の動きが広がっています。

八幡市では、市役所の1階エレベーター前ロビーで、原爆投下された広島・長崎に平和の折り鶴を贈るコーナーが設置されました。8月には中学生の「平和大使」が、市民の手による折り鶴を被爆地に届けます。

パネル展では、広島・長崎での被爆状況を記した原爆パネルも紹介されています。この原爆パネルは市民団体がおこなう学習・展示会にも貸し出しできますので、ご活用ください。

広島・長崎市が呼びかけた平和首長会議は、世界で7614都市、日本では1728都市(99%)が参加しています。京都府下では八幡市だけが未加盟です。八幡市も、一日も早く加盟して「核兵器なくせ」の声を上げましょう。

核兵器なくせの願い 世界へ

平和首長会議

国内99%加盟
京都で残るは
八幡だけ

防災 小学校に備蓄を開始

これまで日本共産党市議団は、避難場所である小学校に防災備品を設置するよう求めてきました。

3月の防災計画見直しで、避難所である学校11校のうち、備蓄済みの男山三中、旧・八幡東小に加え、今年度から男山二中、くすのき小、さくら小、橋本小、南山小に備蓄されました。各校、毛布100枚、マンホールトイレ3～4台とわずかですが、市は今後、廃棄期限のない物資などを配備すると約束。備蓄してない学校への配備は教育委員会と調整する方向です。

日本共産党

議案への態度

12件のうち
8件に賛成

日本共産党八幡市議団は、6月議会で審議した12件の議案のうち8本に賛成しました(66.7%)。

《反対したのは次の4つ》 (備考は反対理由)

◇平成29年度補正予算(一般会計分と国保会計分の2件)…一般会計から国保への繰り入れを5119万円、削減しているため。

◇市税条例改正案…基礎控除の振り替えて、介護保険料が上がるケースがある。

◇大阪国際博覧会誘致決議…カジノ誘致に連動する内容のため。

倉林
明子

参院議員
(京都選挙区)



憲法生かして 平和、くらしを守る

住民の力で
政治動かす



森下
よしみ

府会議員